



ほっ スピタル・かいづか

(43) 肝細胞がんの治療最前線

問合せ先 貝塚病院 ☎072-422-5865

貝塚病院では消化器・肝臓センターを併設し日常診療の中で、肝細胞がん(いわゆる肝臓がん)の治療に積極的に取り組んでいます。肝細胞がんはB型・C型肝炎、肝硬変や脂肪肝から発生することが知られており、これらの治療をいかに早期から開始するかが肝細胞がんの発生を抑制するのに肝要です。当院では最新の抗ウイルス薬治療から脂肪肝の治療まで幅広く対応し、肝細胞がんの予防に努めています。

残念ながら肝細胞がんが発生してしまった場合でも、当院では、通常の肝切除術から低侵襲外科手術センターでの腹腔鏡下肝切除、消化器内科でのラジオ波焼灼術、放射線科での肝動脈塞栓術(カテーテル治療)、最新の分子標的治療薬に至るほぼすべての治療を行っています。

また、これらの治療を患者さんの年齢、病状、肝機能に応じて適切に行っていくと同時に、肝細胞がんの発生を予防する治療も並行して実施しています。患者さん一人ひとりのニーズにあった最新かつ質の高い肝細胞がん治療を行い、泉州地域のみなさんが安心して一貫した良質の肝細胞がん治療を受けることができるよう診療科や職種を超えたチーム医療体制を整えています。

肝臓のことはもちろん、すい臓、胆道、胃、大腸など消化器疾患でお困りのことがありましたら、当院へ気軽にご相談ください。

外科主任部長・低侵襲外科手術センター長 金鏞国